

極秘

滿洲國指導方針要綱

昭和八、八、八
閣議決定

方針

大日本帝國ノ滿洲國指導ハ日滿議定書ノ精神ニ基キ滿洲國ヲシテ大日本帝國ト不可分の關係ヲ有スル獨立國家トシテ進歩發展セシムルコトヲ以テ其ノ根本方針ト爲ス

要綱

一帝國ノ滿洲國指導ハカメテ滿洲國ノ社會的特性ニ順應シ其ノ獨立ノ體面ト舊來ノ慣習トヲ尊重シツツ民族協和ト安居樂業トヲ實現セシメ以テ上下官民ニ光明ト安心トヲ與ヘ萬民喜ンテ建國ノ大業完成ニ邁進スル如クスルモノトス固ヨリ此ノ間帝國ノ指導的威カノ絶エサル潛在的躍動ヲ保續スルヲ要ス

二滿洲國ノ國家根本組織、國防、治安及外交ニ關スル事項、日滿經濟運営上

特ニ重要ナル基礎的事項並ニ圖礎確立ニ關スル重大内政事項ニ就テハ積極的ニ之ヲ指導スルモ爾餘ノ點ニ就テハ滿洲國要路ノ自由活動ニ委スルモノトス

あつたが、その中心は、

三、滿洲國ニ對スル指導ハ現制ニ於ケル關東軍司令官兼在滿帝國大使ノ内面的統轄ノ下ニ主トシテ日系官吏ヲ通シテ實質的ニ之ヲ行ハシムルモノトス
日系官吏ハ滿洲國運営ノ中核タルヘキヲ以テ之カ簡拔推舉ヲ適正ナラシメ之ニ本指導方針ヲ徹底セシムルニ付萬遺憾ナキヲ期スルト共ニ特ニ此等日系官吏ノ活動ノ中心ヲ得シメ其ノ統制ニ便スル爲總務廳中心ノ現制ヲ維持セシムルモノトス

四、滿洲國ハ立憲君主制ヲ究極ノ目標トスルモ當分ハ現制ヲ維持シ正式憲法ハ慎重熟慮ノ上之ヲ制定セシムルモノトス

五、滿洲國ニ於ケル政黨其他ノ政治的團體ハ當分ノ存在セシメサルコトヲ期スルモノトス

六、滿洲國ノ行政ハ極端ナル中央集權ヲ排シ成シ得ル限り地方自治ノ傳統ヲ尊重シ之ト中央集權トノ調和ニ努メシメ各般制度ノ改革ハ漸ヲ以テ進マシム

57

ルモノトス

六 滿洲國ノ陸海軍備ハ國內ノ治安維持上必要ナル限度ニ之ヲ止メシムルト雖モ隣接國ニ對シ必要ナル防禦的設備、艦船等ハ所要ニ應ジ逐次之カ整備ニ努メシムルモノトス

七 滿洲國ノ治安維持ニ就テ是同國成立ノ特殊性ト同國內外ノ事情トニ鑑ミ特ニ査察機關ヲ整備セシメ關東軍ト建嚮ノ上内外各種ノ國家破壞運動ヲ未然ニ防遏スルコトニ努メシムルモノトス尙治安ニ關シテハ滿洲民族ノ特性タル自衛能力ノ利用ニ遺憾ナキヲ期スルヲ要ス

八 滿洲國ノ外交政策ハ東洋ノ平和ヲ確保シ大義ヲ守内ニ顧揚セントスル帶國ノ外交政策ニ依據シ之ト同一歩調ニアラシムルモノトス

九 門戶開放機會均等ノ原則ヲ保持セシムルモ其ノ適用ハ主トシテ國防上ノ要求ニ制約セラレサル事項ニ之ヲ限定セシムルモノトス

一〇 滿洲國ノ經濟政策ハ帝國ノ對世界的經濟力發展ノ根基ヲ確立シ併セテ滿洲國ノ經濟力ヲ強化スル爲目滿洲國經濟ヲ合理的ニ融合スルコトヲ目標トシ且國民生活ノ向上ト衡平トヲ保障スル如ク策定スルモノトス

北
59

行政
の
統
制
カ
ル

- 一〇 滿洲國ノ經濟開發ハ日滿共存共榮ヲ精神トシ其ノ帝國國防上ノ要求ニ創約セラルルモノハ之ヲ帝國ノ實權下ニ置クモ其他ノモノハ滿洲國ノ實權下ニ於テ適宜内外人ノ公正自由ナル經濟活動ニ依ラシムルモノトス
- 一一 滿洲國ニ於ケル交通及通信ハ國防及治安維持ト特ニ緊密ナル關係ヲ有スルヲ以テ帝國政府ノ實權下ニ於テ出來得ル限り速ニ諸施設ノ統一的整備發達ヲ期セシムルモノトス
- 一二 滿洲國ノ財政ハ國民負擔ノ適正ヲ考慮シツツ速ニ之ヲ確立セシムルト共ニ帝國駐滿軍費ヲ分擔スルノ實ヲ果サシムルモノトス
- 一三 帝國政府關係ノ對支固定借款中滿洲國ニ關係アル部分ノ利用乃至回收ニ就テハ滿洲國ノ財政其他ノ事情ヲ考慮シ其ノ處置ヲ講スルモノトス
- 一四 滿洲國民ノ教化ニ就テハ同國民ヲシテ同國ノ帝國ニ對スル不可分の關係ヲ自覺セシムルト共ニ東洋平和確保ノ特殊使命ヲ有スルコトノ自尊心及民族協和ノ理想ヲ涵養セシムルコトヲ主眼トシ且勞作教育ニ力點ヲ注キ實業教育ヲ振興セシムルモノトス
- 一五 滿洲國ノ司法ニ關シテハ特ニ同國ノ國民性ト習俗トヲ尊重シ速ニ法制ノ

整備及組織ノ充實ヲ圖リ廻ク選法ノ美風ヲ養成セシムルト共ニ斷外の借用
ノ確立ヲ期シ以テ治外法權ノ漸進的撤廢ヲ實現スルコトニ努メシムルモノ
トス

備考

本件滿洲國指導方針要綱ニ基ク具體的の方策決定ニ關シテハ從來通り必
要ニ應ジ對滿蒙實行策案審議委員會 對滿金融審議委員會又ハ日滿産
業統制委員會ノ際ヲ經其ノ特ニ重要ナルモノニ付テハ閣議決定ヲ經ル
モノトス

陸軍